

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 龍谷大学

(2) 大学名

龍谷大学

(3) 大学の位置

〒612-8577

京都府京都市伏見区深草塚本町67番地

- (注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	(タチバナ ショウシン) 橋 正信 (平成21年8月4日)	(タチバナ ショウシン) 橋 正信 (平成23年2月4日)	寄附行為第6条に規定されている本願寺派総長の就退任による(23)
学 長	(ワカハラ ドウショウ) 若原 道昭 (平成19年4月1日)	(アカマツ テッシン) 赤松 徹真 (平成23年4月1日)	任期満了による交代(23)
学 部 長	(シライシ カツタカ) 白石 克孝 (平成23年4月1日)		
学科長等	(該当なし)		

- (注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。

(例)平成20年度に報告済の内容 (20)

平成23年度に報告する内容 (23)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注)・ 当該調査対象の学部/学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は, 平成20年度開設の4年制の学科の場合(平成23年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
政策学部 政策学科 学士(政策学)	4年	250人	3年次 5人	1,010人	

(5) - 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成20年度		平成21年度		平成22年度		平成23年度		平均入学定員 超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期		
A 入学定員	()	()	()	()	()	()	()	()	250人	(-)	1.16倍	
志願者数	()	()	()	()	()	()	()	()	2,509	(-)		
受験者数	()	()	()	()	()	()	()	()	2,396	(-)		
合格者数	()	()	()	()	()	()	()	()	663	(-)		
B 入学者数	()	()	()	()	()	()	()	()	291	(-)		
入学定員超過率 B / A									1.16			

- (注)・ ()内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (())書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ []内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位まで**記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。
 ・ 「平成23年度」には, 平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~22年度」には, 確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成 2 0 年度		平成 2 1 年度		平成 2 2 年度		平成 2 3 年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[4] 291	[-] -	
2 年次			[]	[]	[]	[]	[-] -	[-] -	
3 年次					[]	[]	[-] -	[-] -	
4 年次							[-] -	[-] -	
計	[]	[]	[]	[]	[]	[]	[4] 291	[]	

(注) ・ []内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「 - 」を記入してください。

- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「 - 」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学整数**を記入してください。
- ・ 「平成 2 3 年度」には、平成 2 3 年 5 月 1 日現在の状況を記入してください。
- ・ 「平成 2 0 ~ 2 2 年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) - 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	在学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a / b)
平成 2 3 年度 (平成23年4月1日～ 平成23年5月1日)	計 [0]	(累積)計 [4] 291	0%
	うち平成 2 3 年度入学者 0人	うち平成 2 3 年度 291人	
	(主な退学理由)		

(注)・各年度の退学者数・在学者数については、該当年度間(例えば、平成22年度であれば、平成22年4月1日から平成23年3月未
まで)の状況を記載してください。また、数字については確定した数値を記入してください。

- ・ [] 内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 「入学者数に対する退学者数の割合」は、[当該対象年度における退学者数]を、[当該対象年度の入学者数 + 当該対象年度前年度までの確定した在学者数]で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。なお、参考までに例示を添付しますので、そちらをご参照ください。
- ・ 「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	応用心理学B	2後		2								兼1
	哲学思想A	1前		2								兼2
	倫理思想C	3後		2								兼1
	教育原論A	2前		2								兼1 教職課程認定申請の指摘による担当者変更および兼任教員数の変更(23) 担当 広川義哲(講師)
	教育原論B	2後		2								兼1 教職課程認定申請の指摘による担当者変更および兼任教員数の変更(23) 担当 広川義哲(講師)
	発達と教育A	2前		2								兼3
	発達と教育B	2後		2								兼3
	心理学セミナー	2通		4								兼1
	国際社会と経済	2前		2								兼1
	教育学のすすめA	1前		2								兼2
	教育学のすすめB	1後		2								兼2
	現代社会と教育A	2前		2								兼1
	現代社会と教育B	2後		2								兼1
	時間と空間の科学	1前		2								兼1
	生理学	2通		4								兼1
	人類進化学	2前		2								兼1
	生命と進化	1通		4								兼2
	スポーツ技術学演習	1前		2			1					兼10
	スポーツ表現の実際	2前		2								兼1
	人間とスポーツA	1前		2								兼1
	健康とスポーツ	2前		2								兼1
	自然論	1後		2								兼1
	倫理思想A	2前		2								兼2
	環境と社会	2後		2								兼1
	技術論	2後		2								兼1
	環境問題と企業	1後		2								兼1
	環境論	1通		4			1		1			兼2 オムニバス
	エネルギーの基礎	1前		2								兼1
	エネルギーの利用	1後		2								兼1
	生物と環境	1通		4								兼1
	日本の自然	1通		4					1			兼9 オムニバス 兼2 授業運営上の都合による担当者追加および兼任教員数の変更(23) 担当 土屋和三(教授)
	植物の自然誌	2前		2								兼2
	動物の自然誌	2前		2								兼1
	生命誌	2前		2								兼1
	野外観察法	2前		2								兼2 集中
	自然誌実習	2前		4								兼2 オムニバス
	民族の自然誌	2前		2								兼1
	里山学	1後		2					1			兼9 オムニバス
	哲学思想B	2後		2								兼1
	倫理思想B	1後		2								兼2
	ヨーロッパの歴史C	2前		2								兼1 教育課程の見直しに伴う単位数の変更(23)
	人権論A	1前		2			1					兼4 新規教員採用に伴う教員変更(23) 担当 奥野恒久(教授)
人権論B	1後		2			1					兼4 新規教員採用に伴う教員変更(23) 担当 奥野恒久(教授)	
平和学A	1前		2								兼1	
ジェンダーと仏教	未開講 1後		2								兼1 履修希望者がいなかったため(23)	
ジェンダー論	1前		2				1				兼1 授業運営上の都合による担当者の変更(23) 担当 松浦さと子(准教授)	
女性と法	2前		2								兼1	
現代社会と政治	1前		2			1					兼1	
国際人権法入門	2前		2								兼1	
現代社会と法	未開講 1前		2								兼1 履修希望者がいなかったため(23)	
平和学B	1後		2								兼1	
現代司法の実際	1前		2								兼1	
スポーツと人権・平和	2後		2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
教養教育科目	論理学A	1前		2							兼1	
	論理学B	1後		2							兼1	
	哲学思想C	2後		2							兼1	
	社会統計学	1前		2							兼1	
	社会統計学	1後		2							兼1	
	情報社会論	2後		2							兼1	
	社会調査法	3前		2							兼1	
	情報化社会と法	2後		2							兼1	
	経済社会の情報化	1後		2							兼1	
	企業と会計	1後		2							兼1	
	確率・統計入門	1前		2							兼2	
	数理統計学	2前		4							兼1	
	集合と論理	2前		4							兼1	
	数学の世界	2前		4							兼1	
	情報科学実習	1後		2							兼2	授業運営上の都合による担当者変更および兼任教員数の変更(23) 担当 新井潤(准教授)
	情報科学実習	2前		2							兼2	授業運営上の都合による担当者変更および兼任教員数の変更(23) 担当 新井潤(准教授)
	情報科学入門	2前		2							兼1	
	情報科学入門	3前		2							兼1	
	情報科学入門	3前		2							兼1	
	英語で学ぶ日本の社会A	1前		2				2	4		兼6	オムニバス 兼7 オムニバス科目担当者の変更に伴う専任教員の追加(23)および授業運営上の都合による担当者の変更 担当 的場信敬(准教授)・中島琢磨(准教授)
	英語で学ぶ日本の社会B	1後		2							兼7	オムニバス
	ヨーロッパの歴史A	1前		4							兼1	教育課程の見直しに伴う単位数の変更(23)
	ヨーロッパの歴史B	2前		2							兼1	
	アメリカの歴史A	1前		2							兼2	
	アメリカの歴史B	1後		2							兼2	
	比較文化A	2前 4前		2							兼1	教育課程の見直しに伴う配当年次の変更(23)
	比較文化B	2前		2							兼2	
	現代のヨーロッパA	1前		2							兼2	
	現代のヨーロッパB	1後		2							兼2	
	欧米の文化A	2前		2							兼2	
	欧米の文化B	2後		2							兼2	
	欧米の文学芸術A	2前		2							兼2	
	欧米の文学芸術B	2後		2							兼2	
	世界の宗教A	1前		2							兼2	教育課程充実の理由によりクラス数を追加(23) 兼1 担当 古荘匡義(講師)
	世界の宗教B	1後		2							兼2	教育課程充実の理由によりクラス数を追加(23) 兼1 担当 古荘匡義(講師)
	宗教と文化	2通		4							兼1	
	日本の歴史A	1前		4							兼1	
	日本の歴史B	1後		4							兼1	
	日本の歴史C	2前		4							兼1	
	日本の文化	2後		4							兼1	
	日本の文学A	1前		4							兼2	
	日本の文学B	1後		4							兼2	
	日本の文学C	2前		2							兼1	
	アジアの歴史A	1前		4							兼3	
	アジアの歴史B	1後		4							兼2	
	アジアの文化A	2前 4前		2							兼1	教育課程の見直しに伴う配当年次の変更(23)
	アジアの文化B	2後 4後		2							兼1	教育課程の見直しに伴う配当年次の変更(23)
中国の文学A	1前		2							兼1		
中国の文学B	1前		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
教養教育科目	中国の思想A	1前		2								兼1	
	中国の思想B	1後		2								兼1	
	歴史と文化総合研究	2通		4								兼3	
	現代社会と経済	1前		2								兼1	
	文化と社会	2前		2						1			
	自然科学史	1前		2								兼2	
	地球と生命の歴史	2通		4								兼1	
	スポーツ文化史	2前		2								兼1	
	宗教学入門	1前		2								兼1	
	哲学入門	1前		2								兼1	
	倫理学入門	1前		2								兼1	
	論理学入門	1前		2								兼1	
	文章表現法A	1前		2								兼1	
	文章表現法B	1後		2								兼1	
	歴史学入門	1前		2								兼1	
	歎異抄の思想	2前		2								兼2	
	歎異抄の思想	2後		2								兼2	
	音楽の世界A	2前		2								兼2	
	音楽の世界B	2後		2								兼2	
	文化人類学のすすめ	2前		2								兼1	
	経済学のすすめ	1後		2								兼1	
	経営学のすすめ	1後		2							1		
	社会学のすすめ	1後		2									
	地理学のすすめ	1前		2								兼1	
	地域科学のすすめ	2前		2								兼2	
	数学入門	1前		2								兼2	
	数学への旅	1前		2								兼2	
	微分と積分	1前		4								兼1	
	行列と行列式	1前		4								兼1	授業運営上の都合による担当者変更および兼任 教員数の変更(23) 担当 森淳秀(講師)
	微分方程式	2前		2								兼1	
	数理と計算	3前		2								兼1	
	運動の科学	1前		4								兼1	
	物質の科学	1後		4								兼1	
	生物学のすすめ	1通		4								兼1	授業運営上の都合による担当者変更および兼任 教員数の変更(23) 担当 土屋和三(教授)
	生命科学のすすめ	1通		4								兼2	
	人類学のすすめ	1前		4								兼2	
	銀河と宇宙	1前		4								兼2	
	星の誕生と進化	1前		2								兼2	
	太陽系の科学	2前		4								兼2	
	自然科学の論理	2前		2								兼1	
現代社会とスポーツ	1前		2								兼1		
スポーツ科学最前線	1後		2								兼1		
人間とスポーツB	1後		2								兼1		
言語と文化A	1前		2								兼1	教育課程充実の理由により、科目を追加(23)担当 岩田憲幸(教授)	
言語と文化B	1後		2								兼1	教育課程充実の理由により、科目を追加(23)担当 近藤久雄(教授)	
教養教育科目特別講義	1前		4								兼2	オムニバス 兼1 教育課程見直しに伴うオムニバスへの変更(23) 兼3 担当者追加による兼任教員数の変更(23) 担当 上垣豊(教授)	
パークレー語学	1前		12								兼1		
パークレー講義	1前		6								兼1	教育課程の見直しに伴う単位数の変更(23)	
特別講座	1後		4										

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
専攻科目	基礎演習	1前		2		4 2	6	4			兼2 専任教員の新規採用に伴う変更(23) 担当 奥野恒久(教授)、中森孝文(教授)
	基礎演習	1後		2		6 4	6	2			兼2 専任教員の新規採用に伴う変更(23) 担当 奥野恒久(教授)、中森孝文(教授)
	コミュニケーション・ワークショップ演習	2前		2			4	2			兼3
	演習 (卒業研究含む)	2後・3前		4			10	5	2		兼2
	コミュニケーション応用演習	3後・4通		6			10	5	2		兼2
	コミュニケーション応用演習	2後・3前		4				1			
	コミュニケーション応用演習	3後・4前		4				1			
	政策学研究発展演習	2後		4			2	2			
	政策学研究発展演習	3前		4			2		1		
	政策学研究発展演習	3後		4			2		1		
	政策学研究発展演習	4前		4			1		1		
	政策学研究発展演習	4後		4			1		1		
	現代社会の市民性を学ぶ	1前		2				1			
	持続可能性と共生を学ぶ	1前		2			1				
	分権社会の地方自治を学ぶ	1前		2			2				
	情報処理を学ぶ	1前		2				2			兼2 授業運営上の都合により兼任教員から専任教員へ変更(23) 担当 井上芳恵(准教授)、的場信敬(准教授)
	グローバル・シチズンシップ・エデュケーション (現代公共性論)	1後		2				1			
	グローバル・シチズンシップ・エデュケーション (現代世界の地域紛争)	2前		2							兼1
	グローバル・シチズンシップ・エデュケーション (現代民主主義論)	2後		2					1		
	グローバル・シチズンシップ・エデュケーション (現代コミュニティ論)	2後		2				1			
	グローバル・シチズンシップ・エデュケーション (企業の社会的貢献)	3前		2							兼1
	グローバル・シチズンシップ・エデュケーション (人間の安全保障)	3後		2							兼1
	政治学	1前		2			1				
	行政法	1後		2			1				
	経済学	1前		2			1				
	公共政策学	1後		2				1			
	行政学	1後		2			1				
	政策学のための統計・数学	1後		2							兼1
	地方自治論	1後		2			1				
	憲法	1後		2							兼1
	憲法	2前		2							兼1
	環境経済学	2前		2			1		1		
	地域経済学	2前		2			1				
	財政学	2前		2			1				
	国際政治学	2前		2							兼1
	経済学A(ミクロ経済学)	2前		2							兼1
	経済学B(マクロ経済学)	2前		2							兼1
	地域・都市政策総論	2前		2			1				
	環境政策総論	2前		2			1		1		
	地域公共人材総論	2前		2			1				
	地域ガバナンス論	2前		2				1			
	地方自治法	2前		2			1				
	都市計画論	2前		2				1			
	持続可能な発展概論	2後		2				1			
	開発援助論	2後		2							兼1
	地方財政論	2後		2			1				
	地域経済政策	2後		2			1				
社会的排除・包摂論	2後		2			1					
都市再生政策	2後		2			1					
健康スポーツ政策	2後		2			1					
文化・観光政策	2後		2				1				
コミュニティメディア政策	2後		2				1				
景観・まちなみ保存政策	2後		2							兼1	
比較地域政策論	2後		2			1					
アジアの地域・都市政策	2後		2							兼1	
欧州の環境政策	2後		2							兼1	
アジアの環境政策	2後		2					1			
科学技術政策	2後		2			1					

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	行政管理論	2後		2		1						
	自治体政策史	2後		2		1						
	非営利非政府組織論	2後		2			1					
	国際法	2後		2							兼1	
	政策学を外国語文献で学ぶ	2後		2		1						
	国際政治史	3前		2							兼1	
	政治過程論	3前		2							兼1	
	政策応用英語初級A	3前		2							兼1	隔年開講
	政策応用英語発展A	3前		2							兼1	隔年開講
	政策評価論	3前		2							兼1	
	地域コミュニティ政策	3前		2			1					
	比較社会政策	3前		2		1						
	欧州の地域・都市政策	3前		2			1					
	米国の地域・都市政策	3前		2		1						
	交通運輸政策	3前		2							兼1	
	保全生態学	3前		2					1			
	国際環境法	3前		2							兼1	
	環境社会学	3前		2					1			
	政策過程論	3前		2			1					
	公務員論	3前		2		1						
	農村地域再生政策	3前		2							兼1	集中
	環境エネルギー政策	3前		2							兼1	集中
	社会的企業論	3前		2							兼1	集中
	温暖化防止政策	3後		2		1						
	政策応用英語初級B	3後		2							兼1	隔年開講
	政策応用英語発展B	3後		2							兼1	隔年開講
	中国政治論	2後		2							兼1	
	刑事政策	2後		2							兼1	
	ヨーロッパ政治論	3前		2							兼1	
	行政争訟法	3前		2							兼1	
マスコミ論	3前		2							兼1		
国家補償法	3後		2							兼1		
マスコミ論	3後		2							兼1		
憲法	4前		2							兼1		
バークレーインターンシップ	1前		6							兼1		
国内インターンシップ	3前		4		1							
地域公共人材特別講座	2前		10									
特別講座	1前		12									
放送大学科目	1後		8									

科目区分	授業科目の名称	配当 年次	単位数				専任教員等の配置					備考		
			必	選	択	自	教	准	講	師	助		教	助
専攻科目	国際関係論	2後			2								兼1	
	地域研究入門	2後			2								兼1	
	中国語セミナーA	2前			2								兼2	
	中国語セミナーB	2後			2								兼2	
	中国語セミナーC	2前			2								兼1	
	中国語セミナーD	2後			2								兼1	
	海外中国語研修講座	2前			2								兼1	隔年開講 集中
	海外英語研修講座	2前			2								兼1	隔年開講 集中
	ドイツ語セミナーA	2後			2								兼2	
	ドイツ語セミナーB	2後			2								兼2	
	ドイツ語セミナーC	2前			2								兼1	
	ドイツ語セミナーD	2後			2								兼1	
	フランス語セミナーA	2前			2								兼2	
	フランス語セミナーB	2後			2								兼2	
	フランス語セミナーC	2前			2								兼2	
	フランス語セミナーD	2後			2								兼2	
	スペイン語セミナーA	2前			2								兼1	
	スペイン語セミナーB	2後			2								兼1	
	スペイン語セミナーC	2前			2								兼1	
	スペイン語セミナーD	2後			2								兼1	
	ポルトガル語	2前			2								兼1	
	ポルトガル語	2後			2								兼1	
	ポルトガル語 A	3前			2								兼1	
	ポルトガル語 B	3後			2								兼1	
	ロシア語	2前			2								兼1	
	ロシア語	2後			2								兼1	
	ロシア語 A	3前			2								兼1	
	ロシア語 B	3後			2								兼1	
	コリア語	2前			2								兼1	
	コリア語	2後			2								兼1	
	コリア語 A	3前			2								兼1	
	コリア語 B	3後			2								兼1	
	英語 R1	3前			2								兼2	
	英語 R2	3後			2								兼2	
	英語 W1	3前			2								兼1	
	英語 W2	3後			2								兼1	
	英語 S1	3前			2								兼2	
	英語 S2	3後			2								兼2	
	英語 G1	3前			2								兼2	
	英語 G2	3後			2								兼2	
	英語コミュニケーションI	2後			2								兼1	
	英語コミュニケーション	3前			2								兼1	
	Intercultural Discussion	3前			2								兼1	
	中国語コミュニケーション	2後			2								兼1	
	中国語コミュニケーション	3前			2								兼1	
	ドイツ語コミュニケーション	2後			2								兼1	
	ドイツ語コミュニケーション	3前			2								兼1	
	スペイン語コミュニケーション	2後			2								兼1	
	スペイン語コミュニケーション	3前			2								兼1	
	フランス語コミュニケーション	2後			2								兼1	
	フランス語コミュニケーション	3前			2								兼1	
	ヨーロッパ研究A	2後			2								兼1	
	ヨーロッパ研究B	3前			2								兼1	
	ヨーロッパ研究C	2後			2								兼1	
	ヨーロッパ研究D	3前			2								兼1	
	東アジア研究A	2後			2								兼1	
	東アジア研究B	3前			2								兼1	
	東南アジア研究A	2後			2								兼1	
	東南アジア研究B	3前			2								兼1	
	北米研究A	2後			2								兼1	
	北米研究B	3前			2								兼1	
	中南米研究A	2後			2								兼1	
	中南米研究B	3前			2								兼1	
	南北問題研究A	2後			2								兼1	
	南北問題研究B	3前			2								兼1	
	異文化研究A	2後			2								兼1	
	異文化研究B	3前			2								兼1	
	情報・コミュニケーションの技法	2後			2								兼1	隔年開講
	多文化映像論A	2後			2								兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数				専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教	准教授	講師	助教	助手			
専攻科目 学部共通コース(国際関係コース)	多文化映像論B	3前		2								兼1	
	フィールドワーク実習	3前		2								兼1	
	国際関係論	3前		2								兼1	
	現代国際関係史	2後		2								兼1	
	国際ジャーナリズム論	3前		2								兼1	
	アメリカ経済史	2後		4								兼1	
	国際協力論	2後		4								兼1	
	アジア経済史	3前		4								兼1	
	ヨーロッパ経済史	2後		4								兼1	
	地域経済論	2後		4								兼1	
	アジア経済論	2後		4								兼1	
	比較経済論	2後		4								兼1	
	開発経済学	2後		4								兼1	
	ヨーロッパ経済論	2後		4								兼1	
	農業・資源経済学	3前		4								兼1	
	日本経済史	3前		4								兼1	
	経済地理学	3前		4								兼1	
	経済思想史	3前		2								兼1	
	社会調査の技法	3前		2								兼1	
	フィールドワークの技法	2後		2								兼1	
	国際経営論	2後		2								兼1	
	多国籍企業論	3後		2								兼1	
	国際経営戦略論	3前		2								兼1	
	国際比較経営史	3前		2								兼1	
	国際比較社会論	3前		2								兼1	
	アジア企業経営論	3前		2								兼1	
	国際法	2後		4								兼1	
	国際法	3前		2								兼1	
	国際法	3後		2								兼1	
	国際私法	3後		4								兼1	
	国際政治論	3後		4								兼1	
	アフリカ政治論	3前		4								兼1	
	国際取引法	3前		2								兼1	
	開発援助論	2後		2								兼1	
	中東政治論	3前		2								兼1	
	アジア政治論	3後		4								兼1	
	中国政治論	2後		2								兼1	
	アメリカ政治論	2後		2								兼1	
	ヨーロッパ政治論	3前		2								兼1	
	国際環境法	3前		2								兼1	
	現代中国の法と社会	3前		2			1						
	特別演習	2後3前		4								兼5	
	特別演習	3後4前		4								兼5	
	特別演習	4後		4								兼5	
	演習	2後3前		4								兼1	
	演習	3後4前		4								兼1	
	卒業研究	4後		4								兼2	
演習	2後3通4通		12								兼2		
演習	2後3前		4								兼4		
演習(卒業研究含む)	3後4通		6								兼4		
学部共通特別講義	3前後		4								兼1		
学部共通特別講義	3前後		4								兼1		
学部共通特別講義	2後		2								兼1		
学部共通特別講義	2後		2								兼1		
学部共通特別講義	2後		2								兼1		
学部共通特別講義	2後		2								兼1		
学部共通特別講義	2後		2								兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	学部共通コース(英語コミュニケーションコース)	Oral Communication A	2後	4							兼4	
		Oral Communication B	2後	4							兼4	
		Oral Communication A	3前	4							兼4	
		Oral Communication B	3前	4							兼4	
		Writing I	2後	2							兼4	
		Writing	3前	2							兼4	
		米国文化	2後	2							兼1	
		英国文化	2後	2							兼1	
		英国文化	3前	2							兼1	
		米国文化	3前	2							兼1	
		English in the World	2後	2							兼1	
		文化比較	2後	2							兼1	
		Intensive Reading	2後	2							兼2	
		Reading Fluency	2後	2							兼1	
		Communicative Grammar	2後	2							兼1	
		英米事情	3前	2							兼1	
		BusinessWriting	3前	2							兼1	
		Critical Essay	3前	2							兼1	
		Process Writing	3前	2							兼1	
		Public Speaking	3前	2							兼1	
		Debate and Discussion	3前	2							兼1	
		Dynamic of Expression	3前	2							兼1	
		Communicative Grammar	3前	2							兼1	
		Intercultural Discussion	3前	2							兼1	
		海外研修	3前	4							兼1	集中
		英語資格試験セミナー	3前	2							兼1	集中
		Forum	3前	2							兼1	
		Seminar	3後	2							兼4	
Seminar	4前	2							兼4			
卒業研究	4後	4							兼4			
学部共通特別講義	3前	4							兼1			
学部共通特別講義	3前	4							兼1			
学部共通特別講義	3後	2							兼1			
学部共通特別講義	3後	2							兼1			
学部共通特別講義	3後	2							兼1			
専攻科目	学部共通コース(スポーツサイエンスコース)	身体運動の生理学	2後	2		1						
		身体運動の機能解剖学	2後	2							兼1	
		身体運動の制御と学習	2後	2							兼1	
		現代スポーツ論	2後	2							兼1	
		近代スポーツ史	2後	2							兼1	
		スポーツ栄養学	2後	2							兼1	
		スポーツビジネス論	2後	2							兼1	
		スポーツ競技力論	3前	2							兼1	
		スポーツマネジメント論	3前	2							兼1	
		エクササイズテクニク	3前	2							兼1	
		スポーツメディア論	3前	2							兼1	
		スポーツ医学	3前	2							兼1	
		スポーツ統計学	3前	2							兼1	
		スポーツ政策論	3前	2							兼1	
		スポーツトレーニングの原理	3前	2							兼1	
		健康スポーツ論	3前	2							兼1	
		体力学	3前	2			1					
		フィットネスプログラミング	3前	2							兼1	
		スポーツ心理学	3前	2							兼1	
		スポーツマーケティング論	3後	2							兼1	
		スポーツ法学	3後	2							兼1	
		バイオメカニクス	3後	2							兼1	
		地域スポーツ論	3後	2							兼1	
スポーツトレーニングの方法	3後	2							兼1			
スポーツ文化論	3後	2							兼1			
栄養と健康	3後	2							兼1			
スポーツ生理学	3後	2			1							
フィットネスプログラミング	3後	2							兼1			
スポーツ心理学	3後	2							兼1			
特別演習	2後3前	4			1					兼6		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻科目	(スポーツサイエンスコース)	特別演習		4		1						兼6
	特別演習	4後		4		1						兼6
	学部共通特別講義	3前		4								兼1
	学部共通特別講義	3後		4								兼1
	学部共通特別講義	2後		2								兼1
	学部共通特別講義	3後		2								兼1
	学部共通特別講義	3後		2								兼1
	インターンシップ実習	3通		4								兼1
	(環境サイエンスコース)	環境学A		2								兼1
	環境学B	3前		2		1						
	環境と倫理	2後		2								兼1
	環境と経済	2後		2								兼1
	環境とビジネス	2後		2								兼1
	環境と法	2後		2								兼1
	環境管理論	3前		2								兼1
	環境管理論	3後		2								兼1
	環境政策論	3前		2		1						
	環境政策論	3後		2		1						
	コンピュータシステム論	2後3前		4								兼1
	生態学A	2後		2				1				
	生態学B	3前		2								兼1
	地球と環境	2後		2								兼1
	環境地理学	3前		2								兼1
	自然保護論	2後		2								兼1
	化学物質と環境	3前		2								兼1
	シミュレーション技法	3後		2								兼1
	複雑系の科学	3前		2								兼1
	都市経済論	3前		2								兼1
	エコマーケティング	3前		2								兼1
	環境史	3後		2								兼1
	環境アセスメント論	3前		2								兼1
	地域環境論	3前		2								兼1
	気候と気象	2後		2								兼1
	生物共棲論	3前		2								兼1
	水界生態論	3前		2								兼1
	環境フィールドワーク	2後3前		4		1			1			兼1 オムニバス
	環境実践研究	3前		2								兼1
	開発経済学	2後		4								兼1
	産業技術論	3前		2								兼1
	国際環境法	2後		2								兼1
	都市政策論	3前		2								兼1
	演習	2後3前		4		1			1			兼3
	演習	3後4前		4		1			1			兼3
	卒業研究	4後		4		1			1			兼3
	学部共通特別講義A	2後		2								兼1
	学部共通特別講義B	3前		2								兼1

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	比較文化A	2	2前	一般	選択	教育課程の見直しに伴い配当年次を変更して開講するため
2	アジアの文化A	2	2前	一般	選択	教育課程の見直しに伴い配当年次を変更して開講するため
3	アジアの文化B	2	2後	一般	選択	教育課程の見直しに伴い配当年次を変更して開講するため

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず, 何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については, 記入しないでください。(ただし, 未開講科目があった場合は, (1)「授業科目表」にその状況を反映させてください。)

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	該当無し					
2						
3						

- (注) ・ 届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止(教育課程から削除)した授業科目について記入してください。なお, 理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

上記(3)科目に記載の3科目を未開講としたが, 教育課程の見直しに伴い, 配当年次を変更して開講するため, 学生の履修への影響はない。
 また, 当該科目の配当年次の変更は, 履修要項等において記載されており, 学生に対する周知もなされている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「認可時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{認可時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.005}$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て, 小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況，経費

区 分		内 容				備 考					
校 地 等	校舎敷地	172,108.08㎡	79,856.23㎡	0.00㎡	251,964.31㎡	新たに用地を取得するとともに、利用用途の見直しを行ったため(23) 運動場は校舎敷地と別地(スクールバス12分)					
	運動場用地	47,500.00㎡	65,481.05㎡	0.00㎡	112,981.05㎡						
	小 計	219,608.08㎡	145,337.28㎡	0.00㎡	364,945.36㎡						
	そ の 他	202,243.31㎡ 202,238.70㎡	4,168.35㎡ 2,814.21㎡	0.00㎡	206,411.66㎡ 205,052.94㎡						
	合 計	421,851.39㎡ 421,846.78㎡	149,505.63㎡ 148,154.49㎡	0.00㎡	571,357.02㎡ 569,998.27㎡						
(2) 校 舎	専 用	164,796.09㎡ 165,073.45㎡	5,089.34㎡ 50,929.51㎡	5,989.20㎡ 5,915.73㎡	221,684.63㎡ 221,918.69㎡	併設する龍谷大学短期大学部との利用用途を見直しを行ったため(23) 建築計画と登記上の面積誤差により234.06㎡減少(23)					
		(149,987.88㎡) (150,265.24㎡)	(50,899.34㎡) (50,929.51㎡)	(5,989.20㎡) (5,915.73㎡)	(206,876.42㎡) (207,110.48㎡)						
(3) 教 室 等	講 義 室	98室	演 習 室	58室	実験実習室	13室	情報処理学習施設	16室	語学学習施設	1室	(補助職員 12人) (補助職員 12人)
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称				室 数		教員(3名)の新規採用による追加(23)				
	政策学部 政策学科				24 27 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体で共用分(深草図書館分) ・図書 550,086冊 544,965冊 ・学術雑誌 3,34474冊 3,51074冊 ・視聴覚資料 32,012点 ・電子ジャーナル(データベースを含む) 47種類 45種類 2010年度末の決算値が確定したことによる変更			
	政策学部 政策学科	278,256〔124,345〕 277,667〔123,994〕	4,257〔2,014〕 4,236〔2,016〕	0〔0〕	14 42	3,911 3,890	82				
	計	(264,014〔119,935〕) (263,425〔119,584〕)	(4,253〔2,014〕) (4,232〔2,016〕)	0〔0〕	(4) (32)	(3,911) (3,890)	(82)				
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		図書館の相互利用が可能なため、大学全体を記載				
	26,503.00㎡ 26,187.14㎡		2,445 席 2,376 席		2,713,055 冊 2,823,055 冊						
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				クラブ活動等で施設を利用しているため、大学全体を記載				
	11,767.33㎡		テニスコート 3面		投球練習場 1面						
		SETA DOME 1面									

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	設備購入費について設備は大学全体で共用のため、大学全体の設備購入額を学生数により按分した。 平成23年度予算編成に基づき再計上したため(23)
		教員1人当り研究費等	425千円	425千円	図書購入費	3,000千円	1,500千円	2,500千円	
		共同研究費等	54,211千円 43,342千円	54,211千円 43,342千円	設備購入費	43,059千円	13,140千円 37,734千円	16,242千円 16,245千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	編・転入学で、本学他学部、本学短期大学出身の場合、入学金100千円を減免	
	1年次入学	981千円	981千円	981千円	981千円	- 千円	- 千円		
	編入学	本学出身者	- 千円	- 千円	981千円	981千円	- 千円		- 千円
		他大学出身者	- 千円	- 千円	1,081千円	981千円	- 千円		- 千円
	学生納付金以外の維持方法の概要		手数料，寄付金，補助金，資産運用収入，雑収入 等						

- (注)・ 届出時の計画を，届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合，複数の様式に分ける必要はありません。なお，「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を，その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は，その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については，上段に完成年度の予定数値を，下段には平成23年5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては，変更部分を赤字で見え消し修正するとともに，その理由及び報告年度「(23)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお，昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については，黒字で記入してください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少，建築計画の遅延)がある場合には，「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	龍谷大学								備考
既設学部等の名称	修業 年限 年	入 定 学 員 人	編入学 定 員 年 次 人	収 容 定 員 人	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率 倍	開 設 年 度	所 在 地	
文学部						1.13		(1,2年次) 京都市伏見区 深草塚本町67 番地	平成23年4月から文学部各学科専攻の入学定員を変更。
真宗学科	4	150	3年次 13	593	学士(文学)	1.06	平成4年度		
仏教学科	4	120	3年次 8	475	学士(文学)	1.09	昭和24年度	(3,4年次) 京都市下京区 七条通大宮東 入ル大工町125 番地の1	
哲学科 哲学専攻	4	75	3年次 3	288	学士(文学)	1.21	昭和24年度		
哲学科 教育学専攻	4	100	3年次 4	390	学士(文学)	1.17	昭和24年度		
史学科 国史学専攻	4	75	3年次 3	288	学士(文学)	1.18	昭和24年度		
史学科 東洋史学専攻	4	75	3年次 3	288	学士(文学)	1.11	昭和24年度		
史学科 仏教史学専攻	4	75	3年次 3	288	学士(文学)	1.09	昭和24年度		
日本語日本文学科	4	100	3年次 4	390	学士(文学)	1.16	平成4年度		
英語英米文学科	4	100	3年次 4	390	学士(文学)	1.14	平成4年度		
経済学部								京都市伏見区 深草塚本町67 番地	平成23年4月から経済学部各学科の入学定員を変更。 平成18年度から経済学部経済学科の学生募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。 () 経済学部現代経済学科と国際経済学科は入学時一括募集(550人)を行う。
経済学科	-	-	-	-	学士(経済学)	-	昭和36年度		
現代経済学科	4	330	3年次 7	1,244	学士(経済学)	1.10	平成18年度		
国際経済学科	4	220	3年次 5	830	学士(経済学)	()	平成18年度		
経営学部								京都市伏見区 深草塚本町67 番地	平成23年4月から経営学部経営学科の入学定員を変更。
経営学科	4	470	3年次 5	1,815	学士(経営学)	1.16	昭和41年度		
法学部								京都市伏見区 深草塚本町67 番地	平成23年4月から法学部法律学科の入学定員を変更。 平成23年度から法学部政治学科の学生募集を停止し、在学生の卒業をもって廃止する。
法律学科	4	400	3年次 5	1,430	学士(法学)	1.05	昭和43年度		
政治学科	-	-	-	-	学士(法学)	-	平成4年度		

既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地	
理工学部						1.10		滋賀県大津市 瀬田大江町横 谷1番5	平成23年4月から理 工学部各学科の入 学定員を変更。
数理情報学科	4	90	3年次 2	340	学士(理学)	1.11	平成元年度		
電子情報学科	4	90	3年次 2	340	学士(工学)	1.06	平成元年度		平成23年4月から、 理工学部情報メ ディア学科、環境 ソリューション工 学科に編入学定員 を設定。
機械システム工学科	4	100	3年次 2	374	学士(工学)	1.05	平成元年度		
物質化学科	4	90	3年次 2	340	学士(工学)	1.10	平成元年度		
情報メディア学科	4	90	3年次 2	338	学士(工学)	1.14	平成15年度		
環境ソリューション工学科	4	90	3年次 2	338	学士(工学)	1.16	平成15年度		
社会学部						1.12		滋賀県大津市 瀬田大江町横 谷1番5	平成23年4月から社 会学部各学科の入 学定員を変更。
社会学科	4	190	3年次 10	705	学士(社会学)	1.18	平成元年度		
コミュニティマネジメント学科	4	115	3年次 10	435	学士(社会学)	1.10	平成16年度		
地域福祉学科	4	145	3年次 20	560	学士(社会福祉学)	1.07	平成10年度		
臨床福祉学科	4	140	3年次 20	540	学士(社会福祉学)	1.10	平成10年度		
国際文化学部								滋賀県大津市 瀬田大江町横 谷1番5	平成23年4月から国 際文化学部国際文 化学科の入学定員 を変更。
国際文化学科	4	450	3年次 30	1,770	学士(国際文化学)	1.10	平成8年度		
政策学部								京都市伏見区 深草塚本町67 番地	平成23年4月から政 策学部政策学科を 開設。
政策学科	4	250	3年次 5	250	学士(政策学)	1.16	平成23年度		

大学の名称	龍谷大学大学院								備考
既設学部等の名称	修業年限	入定員	編入学員定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地	
(修士課程) 文学研究科									
真宗学専攻	2	20	-	40	修士(文学)	0.87	昭和28年度	京都市下京区 七条通大宮東 入ル大工町125 番地の1	
仏教学専攻	2	20	-	40	修士(文学)	0.65	昭和28年度		
哲学専攻	2	7	-	14	修士(文学)	0.49	昭和41年度		
教育学専攻	2	7	-	14	修士(教育学)	1.92	平成6年度		
国史学専攻	2	7	-	14	修士(文学)	2.07	昭和41年度		
東洋史学専攻	2	7	-	14	修士(文学)	1.07	昭和41年度		
日本語日本文学専攻	2	7	-	14	修士(文学)	1.14	昭和41年度		
英語英米文学専攻	2	7	-	14	修士(文学)	0.42	昭和42年度		
法学研究科 法律学専攻	2	25	-	50	修士(法学)	1.10	昭和47年度	京都市伏見区 深草塚本町67 番地	
経済学研究科 経済学専攻	2	30	-	60	修士(経済学)	0.49	昭和57年度	京都市伏見区 深草塚本町67 番地	
経営学研究科 経営学専攻	2	30	-	60	修士(経営学)	0.74	昭和57年度	京都市伏見区 深草塚本町67 番地	
社会学研究科 社会学専攻	2	10	-	20	修士(社会学)	0.85	平成3年度	滋賀県大津市 瀬田大江町横 谷1番5	
社会福祉学専攻	2	10	-	20	修士(社会福祉学)	1.05	平成3年度		
理工学研究科 数理情報学専攻	2	25	-	50	修士(理学)	0.54	平成5年度	滋賀県大津市 瀬田大江町横 谷1番5	
電子情報学専攻	2	25	-	50	修士(工学)	0.72	平成5年度		
機械システム工学専攻	2	25	-	50	修士(工学)	0.90	平成5年度		
物質化学専攻	2	25	-	50	修士(工学)	1.16	平成5年度		
情報メディア学専攻	2	20	-	40	修士(工学)	1.22	平成19年度		
環境ソリューション工学専攻	2	20	-	40	修士(工学)	0.65	平成19年度		
国際文化学研究科 国際文化学専攻	2	15	-	30	修士(国際文化学)	0.86	平成12年度	滋賀県大津市 瀬田大江町横 谷1番5	
実践真宗学研究科 実践真宗学専攻	3	30	-	90	修士(実践真宗学)	0.90	平成21年度	京都市下京区 七条通大宮東 入ル大工町125 番地の1	
政策学研究科 政策学専攻	2	20	-	20	修士(政策学)	1.35	平成23年度	京都市伏見区 深草塚本町67 番地	平成23年4月から政 策学研究科政策学 専攻(M)を開設。

既設学部等の名称	修業 年限	入 学 定 員	編入学 定 員	収 容 定 員	学位又 は称号	定 員 超 過 率	開 設 年 度	所 在 地	
(博士後期課程)									
文学研究科						0.75		京都市下京区 七条通大宮東 入ル大工町125 番地の1	
真宗学専攻	3	5	-	15	博士(文学)	1.26	昭和30年度		
仏教学専攻	3	5	-	15	博士(文学)	0.66	昭和30年度		
哲学専攻	3	2	-	6	博士(文学)	0.00	昭和41年度		
教育学専攻	3	3	-	9	博士(教育学)	0.44	平成12年度		
国史学専攻	3	2	-	6	博士(文学)	1.16	昭和41年度		
東洋史学専攻	3	2	-	6	博士(文学)	0.83	昭和41年度		
日本語日本文学専攻	3	2	-	6	博士(文学)	1.16	昭和41年度		
英語英米文学専攻	3	2	-	6	博士(文学)	0.00	昭和42年度		
法学研究科								京都市伏見区 深草塚本町67 番地	
法律学専攻	3	5	-	15	博士(法学)	0.40	昭和49年度		
経済学研究科								京都市伏見区 深草塚本町67 番地	
経済学専攻	3	3	-	9	博士(経済学)	0.55	昭和60年度		
経営学研究科								京都市伏見区 深草塚本町67 番地	
経営学専攻	3	3	-	9	博士(経営学)	0.22	昭和60年度		
社会学研究科						0.66		滋賀県大津市 瀬田大江町横 谷1番5	
社会学専攻	3	3	-	9	博士(社会学)	0.55	平成3年度		
社会福祉学専攻	3	3	-	9	博士(社会福祉学)	0.77	平成3年度		
理工学研究科						0.24		滋賀県大津市 瀬田大江町横 谷1番5	
数理情報学専攻	3	3	-	9	博士(理学)	0.11	平成7年度		
電子情報学専攻	3	3	-	9	博士(工学)	0.22	平成7年度		
機械システム工学専攻	3	3	-	9	博士(工学)	0.00	平成7年度		
物質化学専攻	3	3	-	9	博士(工学)	0.44	平成7年度		
情報メディア学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.16	平成21年度		
環境ソリューション工学専攻	3	2	-	6	博士(工学)	0.66	平成21年度		
国際文化学研究科								滋賀県大津市 瀬田大江町横 谷1番5	
国際文化学専攻	3	4	-	12	博士(国際文化学)	0.25	平成14年度		
政策学研究科								京都市伏見区 深草塚本町67 番地	平成23年4月から政 策学研究科政策学 専攻(D)を開設。
政策学専攻	3	3	-	3	博士(政策学)	1.33	平成23年度		

大学の名称	龍谷大学専門職大学院									備考
既設学部等の名称	修業 年限 年	入 定 学 員 人	編入学 員 定 年 次 人	収 容 定 員 人	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率 倍	開 設 年 度	所 在 地		
法務研究科 法務専攻	3	25	-	115	法務博士(専門職)	0.69	平成17年度	京都市伏見区 深草塚本町67 番地		
大学の名称	龍谷大学短期大学部									備考
既設学部等の名称	修業 年限 年	入 定 学 員 人	編入学 員 定 年 次 人	収 容 定 員 人	学位又 は 称 号	定 員 超 過 率 倍	開 設 年 度	所 在 地		
短期大学部 社会福祉学科 こども教育学科	2 2	130 90	- -	372 90	短期大学士 (社会福祉学) 短期大学士 (こども教育学)	1.16 1.11 1.28	昭和37年度 平成23年度	京都市伏見区 深草塚本町67 番地		

- (注)・ 本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成23年5月1日現在の状況を記入してください。
(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)
- ・ 認可申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
 - ・ 学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「-」とし、「備考」に「平成
年より学生募集停止」と記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時	該当無し		

- (注)・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、毎年度、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

< 政策学部 政策学科 >

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況，今後の見通しなど
特になし	特になし

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で，設置認可時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 認可申請書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し，それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

実施体制

a 委員会の設置状況
平成23年4月に、政策学部教授会のもとに「政策学部FD委員会」を設置した。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）
開設初年度である平成23年度は、教育内容の課題に応じて、月1回程度不定期に実施する。

c 委員会の審議事項等

- ・教育活動の企画・開発に関すること
- ・教育内容及び教育方法の検証・改善に関すること
- ・教職員間の交流・研修に関すること
- ・研究成果の教育への還元に関すること
- ・その他、学部における教育活動の向上・発展に関すること

実施状況

a 実施内容
平成23年度は以下の内容を実施する予定である。

- ・政策学部独自のFD研究会の実施
- ・2年次生対象科目の企画・開発

b 実施方法

- ・2ヶ月に1回程度、FD研究会を実施する。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

- ・政策学部の全教員を対象に、今後実施する予定である。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・実施後、授業改善へ向けて取組を検討する。

- (注) ・ 「 a 委員会の設置状況」には，関係規程等を転載又は添付すること。
「 実施状況」には，実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 自己点検・評価等に関する事項

設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨・目的どおりに履行すべく政策学部を運営し、順調にその取組を行っている。

自己点検・評価報告書

a 公表(予定)時期

自己点検・評価報告書の作成に向け、現在検討中である。

b 公表方法

・大学ホームページ上に公開する。

認証評価を受ける計画

本学では平成18年3月に財団法人大学基準協会による相互評価並びに認証評価を受け、大学評価の基準に適合しているとの認定を受けた。次回は平成25年に予定しており、それに向けた取組みをより一層強化していく。

(注)・ 設置認可時の計画の変更(又は未実施)の有無に関わらず記入してください。

また、「 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。